

鉄塔敷地侵入防止用フェンス

●用途

鉄塔敷地へ人が侵入することを防止するためのフェンス。

●仕様

忍び返しを有し、溶融亜鉛メッキを施すこと。

材料は、次の条件を満足すること。

(1)柱、控柱、縦格子

JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」、JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」に規定されたもの、または当社の承認を受けたもの。

(2)溶接金網

JIS G 3505「軟鋼線材」に規定されたもの、または、当社の承認を受けたもの。

(3)ボルト類

JIS G 3101「一般構造用圧延鋼材」、JIS G 3444「一般構造用炭素鋼鋼管」、JIS G 3507-1「冷間圧造用炭素鋼—第1部：線材」に規定されたもの、または当社の承認を受けたもの。

(4)その他付属品

容易に腐食しない材質とし当社の承認を受けたもの。

【フェンスの性能】

性能は次の条件を満足しなければならない。

(1)主な部分には、変形、亀裂および接合部の外れなどの欠点があってはならない。

(2)人体又は衣服の触れる虞がある部分には、鋭い突起などがなく、安全でなければならない。

(3)仕上げ面は、平らで、有害なワレ、サビ、ヒビおよび著しい偏肉当の欠陥があってはならない。

(4)各部のすき間を直径110mmの球体を通らないものとする。なお、設計図面には地表面と下胴縁の間隔を明記するとともに、地表面とフェンス下部のすき間を直径110mmの球体を通らないように施工するよう、取扱い注意事項で明記しなければならない。

(5)門扉は、開閉により、がた、ゆるみ、変形を生じない構造である他、第三者が容易に開けられない構造であること。

鉄塔敷地侵入防止用フェンス

【フェンスの構造】

敷地侵入防止用フェンスの構造は、簡単で、現地施工が容易であるほか、次の条件を満足すること。

- (1)各部の組立ては、溶接、ボルト締め又はその他の方法により堅ろうに結合し、外力に対して容易に外れない構造でなければならない。
- (2)見えがかり接合面は、滑らかに仕上げ、組立は、緩みを生じないよう確実に緊締される構造でなければならない。
- (3)製品は、耐久性及び変形防止を考慮した構造でなければならない。
- (4)丁番、落とし棒及び掛けがねは、必要な場合、交換できるような構造でなければならない。
- (5)キャップ類を使用する場合には、容易に外れないような構造でなければならない。
- (6)一般地域用および高尺のパネルおよび忍返しには溶接金網を、多雪地域用のパネルおよび忍返しには縦格子を使用すること。なお、忍返しの溶接金網および縦格子にはパネルと同じ材料を用いること。
- (7)溶接金網は線材を水平方向ならびに鉛直方向に配したものをを用いること。
- (8)多雪地域用フェンスの場合、パネルを柱に取り付けるためのボルト等が、自然に生じる振動や、素手などによって容易に外れないこと。い構造であること。

【フェンスの寸法】

フェンスの寸法は以下の通りとする。

パネル高さ 205cm

忍返し高さ 2cm